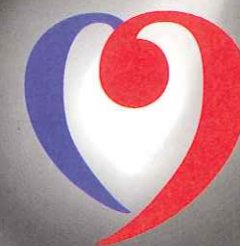


JAPANESE HEART FAILURE SOCIETY

日本心不全学会

JAPANESE
HEART
FAILURE
SOCIETY



News Letter

1998, No.1

発行：1998年3月15日
日本心不全学会事務局
Japanese Heart Failure Society

〒606 京都市左京区聖護院川原町54
京都大学医学研究科循環病態学内
Tel. 075-751-4255 Fax. 075-751-4872

CONTENTS

3

第1回日本心不全学会学術集会を終えて 京都大学 村上 知行

4

第2回日本心不全学会総会・学術集会開催のご案内（第1報）

◇会 期：1998年10月15日（木）～17日（土）

◇会 場：札幌パークホテル

〒060-0810 札幌市中央区南10条西3丁目 Tel: 011-511-3131

◇会 長：北島 顕

5

プログラムの概要

6

Journal of Cardiac Failure への投稿のお願い

第1回日本心不全学会学術集会を終えて

近年我々の心臓への視点は大きな変貌をとげた。心臓がもはや単なるポンプではなく、外的傷害や負荷に対応して種々のホルモン、サトカインを産生し、自らの構造を再構築してゆく動的器官であることが明らかになったからである。心不全という病態も血行動態の破綻という観点から、神経系、内分泌系、免疫系の異常を伴う複雑な症候群として理解されるようになった。このような知見の深化は、分子生物学、遺伝子工学の進歩に伴う基礎的研究および心不全治療薬の大規模試験をはじめとする臨床的研究の成果に依るところが大きい。しかし、心不全の病態の克服には依然多くの課題が山積し、これら基礎的、臨床的研究の有機的な結合が要請されている。

ヨーロッパではDr. W. Remme (オランダ) を中心に1995年ヨーロッパ心不全研究会が発足し、1997年5月にはケルン(ドイツ)ですでに第二回学術総会が催されている。アメリカでは1995年、Dr. J Cohnを中心にアメリカ心不全学会が設立され、1997年9月にボルチモアでその第一回総会が開催された。このような状況を踏まえ、わが国においても1996年日本心不全学会が設立、その第一回学術集会が1997年10月10日-12日京都国際会議場において篠山重威教授(京都大学)を会長として開催された。本会にはこの分野において我々が直面する諸問題への関心の高さを反映して、1000人近い方々の参加を得ることが出来た。

本学術集会では3日間の会議期間中、一般演題、2つの特別講演、4つのプレナリーセッションに加え、4つのランチョンパネル、2つのサテライトシンポジウム、1つのポストコンGRESSシンポジウムを計画した。特別講演には、Dr. J Cohnと真崎知生先生をお招きし、それぞれ「Left Ventricular Remodeling: hemodynamic, hormonal, cellular and molecular contributions to the progression of heart failure」「エンドセリンの発見と展開」と題して講演を頂いた。プレナリーセッションでは、心筋リモデリングの過程と心不全への進展におけるエンドセリン、レニン・アンジオテンシン系、サイトカインの役割を中心に「心不全とレニンアンジオテンシン系」、「心不全とサイトカイン・NO」、「心筋リモデリングの情報伝達」、「心肥大から心不全へ」の各セッションで外人を含む5人の新進気鋭の演者に講演を頂いた。一般演題には心不全の病態、診断、治療をキーワードとして演題を募集したところ239題もの応募があり、126題は病態に、72題は治療に関するものであった。このうち若手研究者への研究奨励を目的としてYoung Investigator Awardsを設けたが、11人の理事による厳正な選考の結果、絹川真太郎(九州大学)、上山剛(山口大学)、大道信之(滋賀医科大学)の3氏が受賞の栄誉を得られた。

本学術集会のプログラムの作成にあたっては参加者全員が居ながらにしてすべてのセッションの発表、討論に参加して頂けるよう各セッションの時間帯に重複のないよう配慮したつもりであるが、この点では一応のご理解をして頂けたと思う。

本学会の大きな目標の一つは心不全をテーマにした学術交流の国際化である。アメリカ心不全学会、ヨーロッパ心不全研究会、日本心不全学会が三極となって世界の心不全に関する基礎的、臨床的研究の指導的役割を演じることができていることを期待している。本学会はアメリカ心不全学会とJournal of Cardiac Failureを機関誌として共有しているが、将来的には学術集会に国際セッションを設ける、演題発表言語を英語にするなどの検討課題を残している。また今回の集会では一般演題中心筋に関する演題が208題で血管に関する演題は31題に止まった。血管作動物質の動態、血管新生やそのリモデリングも心不全の進展を修飾する重要な病態であると考えられ、この分野で活躍しておられる研究者、臨床家にも広く門戸を開く必要があろう。

最後に本学術集会の開催運営に際し、学会評議員、学会員をはじめとして各方面から多大な御鞭撻、御協力を頂いた。この紙面をお借りして、すべての方々に深謝申し上げたい。

(第一回日本心不全学会学術集会事務局：文責 村上知行)

日本心不全学会組織

○理事長	篠山重威	木全心一	篠山重威	白土邦男	杉下靖郎	竹下 彰
○理事	北島 顕	松崎益徳	矢崎義雄	横山光宏		
藤原久義	松尾裕英	阿部圭志	飯塚昌彦	飯沼宏之	石井常男	石川恭三
○評議員	相澤義房	井上 博	井上通敏	伊吹山千晴	今泉 勉	岩坂壽二
石川欽司	和泉 徹	大江 透	大川真一郎	小川 聡	奥村 謙	尾本良三
岩崎忠昭	遠藤政夫	片桐 敬	茅野真男	川口秀明	河村慧四郎	神原啓文
梶谷定志	片桐 敬	上松瀬勝男	木全心一	楠岡英雄	児玉和久	小林 正
菊池健次郎	木之下正彦	北島 顕	篠山重威	佐藤友英	沢山俊民	島田和幸
小柳左門	齊藤大治	齋藤宗靖	杉下靖郎	住吉徹哉	関口守衛	岸澤 剛
島本和明	白土邦男	滝澤明憲	砂川賢二	竹下 彰	田中弘允	谷口興一
外畑 巖	高野照夫	土居義典	竹越 襄	友池仁暢	外山淳治	豊岡照彦
田村康二	土肥和紘	中野 赳	杉山幸志郎	西山信一郎	野々木宏	延吉正清
永井良三	中川雅夫	半田俊之介	菱田 仁	平盛勝彦	日和田邦男	藤田正俊
土師一夫	林 博史	堀 正二	本田 喬	真島三郎	増田善昭	松尾修三
藤原久義	細田泰之	松岡博昭	松崎益徳	松森 昭	馬淵 宏	丸茂文昭
松尾博司	松尾裕英	道場信孝	光藤和明	宮武邦夫	村山正博	望月正武
丸山幸夫	三浦 傳	矢崎義雄	泰江弘文	柳澤輝行	矢野捷介	山口 洋
本宮武司	盛岡茂文	吉川純一	李 鐘大	(敬称略)		
横田慶之	横山光宏					

賛助会員一覧(平成10年2月1日現在、五十音順)

アストラジャパン株式会社	エーザイ株式会社	大塚製薬株式会社	サントリー株式会社
塩野義製薬株式会社	ジョンソン・エンド・ジョンソンメディカル株式会社		
ゼネカ薬品株式会社	大鵬薬品工業株式会社	田辺製薬株式会社	第一製薬株式会社
株式会社第一ラジオアイソトープ研究所		財団法人体質研究会	大正製薬株式会社
大日本製薬株式会社	日本化薬株式会社	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	
日本ヘキスト・マリオン・ルセル株式会社		日本メジフィジックス株式会社	
日本モンサント株式会社	バイエル薬品株式会社	萬有製薬株式会社	ファイザー製薬株式会社
フクダ電子株式会社	藤沢薬品工業株式会社	丸石製薬株式会社	三菱化学株式会社
明治製菓株式会社	持田製薬株式会社	吉富製薬株式会社	

第2回日本心不全学会総会・学術集会開催のご案内 (第1報)

First Announcement of
The 2nd Annual Scientific Meeting of
the Japanese Heart Failure Society

上記総会ならびに学術集会を下記のように開催いたしますので、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

会 期：1998年10月15日(木)～17日(土)

会 場：札幌パークホテル

〒060-0810 札幌市中央区南10条西3丁目 Tel: 011-511-3131

会 長：北島 顕 (北海道大学医学部循環器内科学講座)

プログラムの概要(予定)

- Special Lectures I Marvin Konstam (Tufts University)
- Special Lectures II Leslie Leinwand (Colorado University)
- Special Lectures III Hisayuki Matsuo (National Cardiovascular Center)
- Plenary Sessions
 - I Beyond ACE Inhibitors
 - II Heart Failure and Cardiac Sudden Death
 - III Gene Therapy for Heart Failure: Current Status and Future Prospect
 - IV New Insights in Pathophysiology of Heart Failure
- Morning Seminar (State of the Art Lectures)
 - I Basic Science for the Clinical Investigation
 1. Apoptosis: Its Mechanism and Meaning in Heart Failure
 2. Heart Failure and Molecular Signaling in Myofilaments
 - II Cardioprotection from Ischemic Heart Failure
 1. Mechanisms of Cardioprotection with Ischemic Preconditioning
 2. Adenosine and Cardioprotection: Its Implication in Heart Failure
 - III A New Paradigm beyond Cardiac Transplantation
 1. Treatment of Profound Heart Failure by Ventricular Assist System
 2. Ventriculoplasty of the End-Stage Heart Failure: "Batista" operation and "Dor" operation
- Preliminary List of Scientific Presentors (Abroad)
 - Dirk J. Beuckelmann (Köln University)
 - John C. Burnett, Jr. (Mayo Clinic)
 - Arther Feldman (Johns Hopkins University)
 - Gary Francis (Minnesota University)
 - Kirk Hammond (Veteran's Affairs Medical Center)
 - Walter Koch (Duke University Medical Center)
 - Marvin Konstam (Tufts University)
 - Leslie Leinwand (Colorado University)
 - Craig Pratt (Baylor University)
 - Karin Przyklenk (Good Samaritan Hospital)
 - Willem J. Remme (FESC, Sticares Research Foundation)
 - Luigi Sacca (University Federico II)

Robert Segal (Merck Research Laboratories)
John Solaro (Chicago University)
William Stevenson (Harvard Medical School)
Finn Waagstein (Goteburg University)

- 一般演題 (Poster Session) 募集開始予定 (1998年3月)
演題締め切り予定 (1998年5月8日)

- Young Investigators Award (3題)
- ランチョンセミナー
- サテライトシンポジウム

- | | |
|---------------------|-------------|
| I. 日本心不全学会理事会・評議員会： | 10月15日12時から |
| II. 日本心不全学会総会： | 10月15日16時から |
| III. YIA授与式： | 10月17日12時から |

For further information:

Secretary General; Hiroshi Okamoto, M.D.
Department of Cardiovascular Medicine,
Hokkaido University, Kita-15, Nishi-7, Kita-Ku,
Sapporo 060-8638 Japan
Phone: 011-716-1161 (EXT:6973, 6974)
Fax: 011-706-7156
E-mail: okamoto@hucc.hokudai.ac.jp

- 主 催 日本心不全学会
共 催 財団法人 日本心臓財団
後 援 社団法人 日本循環器学会

第3回日本心不全学会総会・学術集会 (予告)

会 長	竹下 彰 (九州大学医学部循環器内科)
日 時	平成11年10月7日(木)～9日(土)
会 場	アクロス福岡 福岡市中央区天神 1-1-1
連絡先	九州大学医学部循環器内科 筒井 裕之 Phone: 092-642-5360 (ダイヤルイン) Fax: 092-642-5374 E-mail: prehiro@cardiol.med.kyushu-u.ac.jp

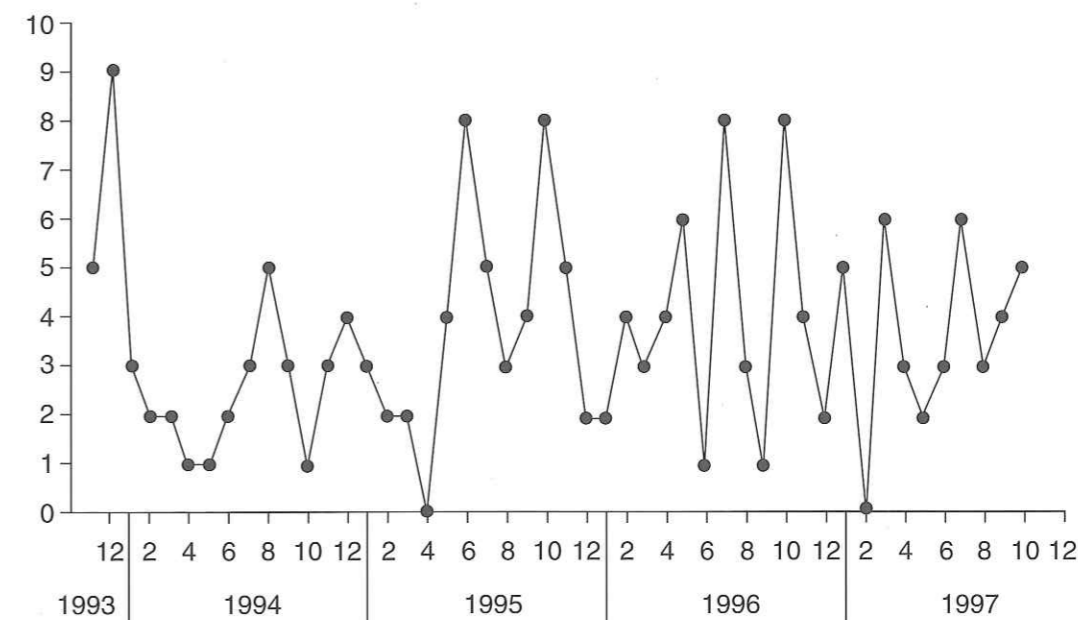
Journal of Cardiac Failure への投稿のお願い

日本心不全学会会員各位におかれましては、Journal of Cardiac Failure が日本心不全学会と米国心不全学会の共通の機関誌となっていることにはすでにご承知のことと思います。今後本雑誌が心不全の病態の解明や治療の開発に貢献していくためには、日本で数多く行われている心不全に関する優れた基礎的ならびに臨床的研究の発表の場としてさらに活用していく必要があると思われまします。したがって、日本心不全学会としても会員各位に Journal of Cardiac Failure へのさらなる投稿をお願いする次第です。本稿では 1997 年 AHA の際に行われた Editorial Board Meeting での資料をもとに Journal of Cardiac Failure に関する情報を提供します。

- 1) 日本心不全学会の会費には、Journal of Cardiac Failure の購読費が含まれます。
- 2) 本雑誌は現在の所、Index Medicus/MEDLINE, Excerpta Medical EMBASE, Chemical Abstracts にリストされています。
- 3) 投稿論文数は月により変動がありますが、月あたり 0～9 編です (図 1)。国別には、全 173 編のうち米国がもっとも多く 65 編 (38%)、ついで日本 21 編 (12%)、スウェーデン 13 編 (8%)、さらにドイツ、オランダ、英国が各 10 編 (各 6%) と続きます。
- 4) 査読に要する期間は図 2 の通りで、多くは 10 週間以内です。査読の結果は、Vol. 3 (1997 年分) の 53 編については 32 編 (60%) が accept されています。うち 19 編 (36%) は no～minor revision で、13 編 (25%) が major～additional revision で accept されています。reject されたのは 11 編 (21%) で、10 編は pending となっています。
- 5) 投稿規定は Journal of Cardiac Failure の各号をご参照下さい。

Journal of Cardiac Failure
Japanese Heart Failure Society
Publication Committee
 Akira Takeshita (Chair)
 (竹下 彰、九州大学医学部循環器内科)

投稿論文数



査読に要する期間

